

# CASBEE<sup>®</sup>さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	さいたま市浦和区常盤9-14計画新築	階数	地上11F
建設地	埼玉県さいたま市浦和区常盤九丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	150人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2021年7月	評価の実施日	2018/10/
敷地面積	917㎡	作成者	長谷工コーポレーション 寺澤
建築面積	513㎡	確認日	2018年10月4日
延床面積	4,250㎡	確認者	長谷工コーポレーション 寺澤



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

②建築物の取組み 72% (99 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

③上記②以外の 72% (99 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

④上記+ 72% (99 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

音環境	3.1
温熱環境	3.8
光・視環境	3.7
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.6
耐用性	3.1
対応性	3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	4.1
地域環境	2.3
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。		
<b>Q1 室内環境</b> ・二重壁によりD+値50を目標値として設定。 ・カーテン及びバルコニー庇の組合せで昼光制御。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	<b>Q2 サービス性能</b> ・性能表示基準劣化対策等級3を取得。 ・ビニルクロス貼耐用年数20年。 ・住居部分の基準階天井高2.9m以上3.0未満。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、LED照明を採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐輪場200%以上を確保し周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される